

資料1

第2回 安心つながり部会



平成30年9月26日(水) 302会議室

第1回区政会議（6月12日）で提案されたテーマ

モデルケースを作って、波及できる形を検討する
・防災関係における介護施設等企業との連携について
(・空き家利用や空き店舗・空き施設活用について)

部会長と事務局で課題を整理

近年の災害の
発生状況を
踏まえて

○介護施設も地域に根差すことが課題となっており、地域包括ケアの視点で地域に対してできることを模索している。

→企業として地域とコミュニケーションをとることが出来ないか？

→有料老人ホーム等が地域とつながっていないのではないか？NPOとして地域を回り報告会を行ったが孤立している施設が多かった。

○空き家と同じく空き店舗が増えてきている。

→賃料等の問題、効果的な活用方法が見えていないことが課題。

空家等対策推進事業

介護・福祉施設の多い地域などを選定し
地域・企業・介護がつながるセーフティ
ネットのモデルを作る

部会長
検討

第1回安心つながり部会 の議論

提案内容の決定(仮)
情報収集の必要な項目の選定

本日

9月26日

第2回安心 つながり部会

提案内容の検証・議論
本会議に必要な情報の追加

提案

10月

第2回区政会議
本会議

前回の部会で決定した項目

○モデルとなる地域を検討

矢田東地域

水害時等の被害が懸念されること及び藤本委員の所属しているNPOが災害時の連携について情報交換を始めていること等から矢田東地域をモデルとして他の地域へ広がりを検討

○必要な調査事項

資料2 区民アンケート
(8月24日～9月7日実施)

資料3
矢田東地域 まちあるき(現地視察)

各介護事業者へのアンケート

●部会での意見をうけて、『「防災マップ」「水害ハザードマップ」の認知度について』『「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」等の発令される情報の意味やその際にとる行動について理解度について』の質問を追加した。

●モデルとして検討を進める前提として矢田東地区がどのような地域で、どんな特徴があるのか(空家が多い、文化住宅等が多い、高層ビルが少ないこと)等を実際に見て歩き、地域の方々との意見交換を通じて必要な事項を議論に繋げていくことを目的として実施。

●各事業所(事業の種類・形態によって異なる)ができること、各事業所が必要としている情報、行政または地域として各事業所が求めることを確認。

本会議
提案内容
(仮)

顔の見えるつながりの作り方

提案に向けた本日の議論

- ・矢田東地域でどのような団体が同じテーブルにつけば良いか
- ・防災を始め、どのようなテーマを話し合えれば良いか
- ・中学生等の子供たちとどう関わりを構築していくか